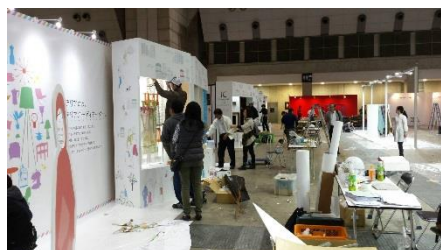


JAPANTEX2016 を終えて

国内最大級のインテリアの展示会 JAPANTEX2016 が、10月26日から東京ビックサイトにて行われ、当協会賛助会員のサンゲツさん・トーソーさん・ニチベイさん、そして、JAPAN DECOON には J-fabric さんが参加、私たち協会からも数人が代表し、幾つかのイベントに参加いたしました。

JAPANTEX は、インテリアに携わる IC にとってはいち早くトレンドをキャッチでき、また、挑戦ができる貴重な催しです。

そんな展示会で私たちがチャレンジしたひとつ、インテリア産業協会の IC YOKOCHO（愛称横丁）に3名の IC が、漢字一文字でトレンドカラーを用いインテリアを表現するといった展示に挑戦しました。



展示会前日の様子

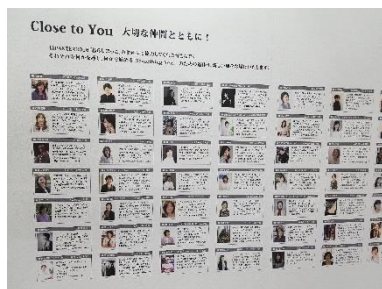


3名の展示：左から透・憧・彩を表現

全国の IC の作品が展示される中、参加した3名も、3人3様それぞれの世界を表現できていたと思います。参加した IC も『いい機会をいただき本当にありがたく楽しかったです！』と語ってくれました。

IC みんなでこれからも試行錯誤しながら感性を磨いていきたいものです。

他、暮らしぼっこ様ブースには当協会 IC 数人のプロフィールが紹介されました。



こちらのブースでは、全国の IC 紹介と IC とペットを紹介した展示がされまし

た。

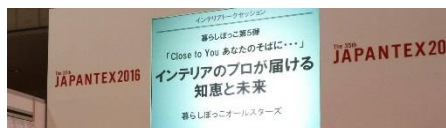
ペットと暮らすスタイルも今では定着。IC の知識としても必須です。

また、このブースでは巨大こたつ布団をメインに『こたつのある空間』を設置。心地よいと思える居場所を提供。IC たちが選んだカーテン生地 18 種類をパッチワークにし、東北の震災で被災した女性が縫製してくれています。このコタツ布団の生地選定・製作にも当協会 IC 1 名が参加しました。

たくさんの想いの詰まったコタツ布団にこれからも震災の事。災害の事を忘れずインテリアの工夫も考えていかなければいけないことを痛感いたしました。



コタツ布団ブース



暮らしぼっこオールスターズによるサミット風景



最終日の 28 日（金）には～インテリアのプロが届ける知恵とみらい～
全国のインテリアのプロ団体の代表（暮らしぼっこオールスターズ）によるサミットに、当協会 IC 1 名が代表として参加。
お客様に沿った IC の接し方について話をさせて頂きました。

今年の JAPANTEX2016 も、神奈川インテリアコーディネーター協会にとって、実りのある、また、刺激を受け、これからにつなげる大変貴重な催しとなりました。